

For Immediate Release

Contact: Ron Lasko at [212-505- 1700 x. 11](tel:212-505-1700), [ron@spincyclenyc.com](mailto:ron@spincyclenyc.com)

Contact (Japanese): Sachiko Ninomiya at 646-399-7203, [sninonet@hotmail.com](mailto:sninonet@hotmail.com)

**FringeNYC 2012 で Overall Excellence Award を獲得し、世界各国でも喝采を浴びた、  
流山児★事務所 “HANAFUDA DENKI – THE DANCE OF DEATH”  
再び NYC で嵐を巻き起こします！  
2014 年 1/21(火)–26(日) @ HERE**

*"The brainchild of Shuji Terayama, a Japanese playwright, filmmaker and all-around artistic provocateur (he died in 1983), "Hanafuda"...Performed with full-tilt commitment and unusual discipline by the Ryuzanji Company, the show, directed by Saori Aoki with little flourishes of the grotesque, has rowdy, propulsive energy." -- The New York Times*

あらゆる分野で挑発し続ける芸術家であった寺山修司(1983年没)の独創的な作品『花札伝綺』。…全速力のパワーと類い稀なる統率力で演じられ、少しばかりグロテスクに味付けされ、賑やかで推進力いっぱいのエネルギーが衰えることはない。(ニュー YORK タイムズ)

4 Stars. *"Its bold concept provides ingredients for a well-balanced Brechtfast. Performed excitingly with a neo-Kabuki flair... the climax will haunt you on your way out."* -- Time Out

★★★★ 大胆なコンセプトが、このバランスの取れた“ブレヒトの翻案劇”を創り出している。ネオ歌舞伎スタイルで刺激的に演じられ、クライマックスの驚きの新事実があなたをこの劇の虜にすること請け合いだ。  
(タイムアウト)

Critic's score: A-. *"A madcap mixture of Japanese ghost stories and Weimar cabaret... The players perform a seemingly impossible balancing act, remaining completely committed while winking at the audience, bringing them in on the fun."* -- Backstage

評価:A- 日本のゴーストストーリーとワイマール共和国時代のキャバレー文化の向こう見ずな融合…ほとんど不可能に近い見事なバランス感覚でもって演じる役者たち。確信犯的な演技を披露する傍ら、観客に向けてリンクを投げかけ、客席を笑いで埋めつくしている。  
(バックステージ)

*"Delightfully overwhelming from start to finish, this spectacle-driven production is an hour and change well spent... Spooky and aesthetically delicious."* -- Theater is Easy

最初から最後まで楽しみが継続！この見世物小屋的な作品は、一時間、見事に変化をしながら終幕を迎える…  
気味悪くて、そして美的感覚に優れている。(シアターイズイージー)

*"Brilliantly reflects the original Brecht-based classic for our times, complete with lively singing and colorful kimonos."* -- TheaterMania

生き生きとした楽曲と色とりどりの着物を用い、ブレヒトの元の古典的な作品を、現代に素晴らしく反映させている。  
(シアターマニア)

日本の現代演劇の革命を担った 60 年代演劇の精神を継承し、東京を拠点に世界を股にかけて活躍する流山児★事務所の、アングラミュージカル “HANAFUDA DENKI – THE DANCE OF DEATH 『花札伝綺』” が、NY に再上陸！

2014 年 1 月 21(火)～26(日)まで SOHO にある HERE で全 7 公演を行います。

“HANAFUDA DENKI – THE DANCE OF DEATH 『花札伝綺』”は、日本の前衛作家の雄・寺山修司がブレヒトの『三文オペラ』を元にして創った作品です。この寺山版三文オペラを、流山児★事務所が全 23 曲のオリジナル楽曲を用い、ブラック・コメディ・ミュージカルに仕上げました。

本作品は、日本国内の神社やお寺、歌舞伎小屋で上演され、海外ではインドネシア、英国エジンバラ、NY、カナダで喝采を浴びました。2012 年の FringeNYC では、Overall Excellence Award を獲得したほか、数々の劇評に取り上げられました。

1960 年代に NY でも上演活動を行い、世界の芸術シーンにも刺激を与えた寺山修司の作品を、没後 30 年を迎える今、寺山スピリットを受け継ぐ、流山児★事務所が、ネオ歌舞伎スタイルで、再び NY の観客を寺山ワールドへと誘います。

【あらすじ】 時は大正時代。東京の下町にある葬儀屋が舞台。この家族は父親の団十郎をはじめ猫に至るまで皆、死んでいる。にもかかわらず、一人娘の歌留多が生きている男、盗人「墓場の鬼太郎」に恋して結婚するという。団十郎は死んでいる美少年を呼びさまし娘を誘惑させ、歌留多を死の世界へ取り込もうとするが…。こうして「死」の世界を生きる団十郎と「永遠」を盗み続けたいと願う大泥棒の鬼太郎の「生」と「死」を股に掛けた鬼ごっこがはじまる。娘、歌留多の運命はいかに？！

【作】寺山修司 【演出・美術】青木砂織 【音楽】本田実 【振付】石丸だいこ 【芸術監督】流山児祥 【出演】伊藤弘子 イワヲ 谷宗和 里美和彦 平野直美 木暮拓矢 坂井香奈美 山下直哉 山丸莉菜 五島三四郎 / 本田実 流山児祥

公演 HP: <http://music.geocities.jp/ryuzanji3/2014.html>

日本語プレスリリース詳細: <http://www.ryuzanji.com/hanafuda2014ny.html>

FB [https://www.facebook.com/events/336940766447895/336940769781228/?notif\\_t=like](https://www.facebook.com/events/336940766447895/336940769781228/?notif_t=like)

【NY 公演】 2014 年1月 21 日(火)～26 日(日)

@ [HERE](#) 145 6<sup>th</sup> Ave. (Enter on Dominick, 1 Block South of Spring)

平日 8:30 開演 土曜 4:00 / 8:30 開演 日曜 4:00 開演

チケット 一般: \$25 / 学生・シニア: \$20

問合せ: <http://here.org/> 電話: 212-352-3101 (HERE)

協賛: クロッシング・ジャマイカ・アベニュー (芸術監督 河原その子)

\* Box Office opens after 5pm on show days or 2 hours before any performance.

\* 英語字幕付き日本語上演

This production is a part of the Sublet Series@HERE, HERE's curated rental program, which provides artist with subsidized space and equipment, as well as technical support. It is also supported by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan and cosponsored by Crossing Jamaica Avenue.

###